

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		公園施設長寿命化計画策定事業			
所管部局	環境部	部局長名	黒田 直稔	予算事業名	◎公園施設長寿命化計画策定事業費
所管部署	みどり課	所属長名	今西 紀久	予算事業科目(平成25年度)	010805060488

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画施策体系での位置付け					
施策の大綱	01	共生の環	施策取組方針	みどり豊かな都市環境を創造するために、公園や公共施設のみどりのストックを核として、民有地、道路、河川などの緑化を連続させるとともに、市民が水辺と触れ合うことのできる親水空間の整備を推進します。	
政策	02	自然豊かなまちづくり			
施策	07	みどり豊かな市街地づくり			
2 事業の根拠・性格			法定受託事務		
法律・政令・省令					
県条例・規則・要綱等					
市条例・規則・要綱等					
その他(計画、覚書等)	「都市公園事業における公園施設長寿命化計画策定指針(案)」(平成24年4月国土交通省)				

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	老朽化した都市公園の施設			
意図	どのような状態にしていくのか	改築・更新計画を策定することにより、平成26年度以降の国費補助(社会資本整備総合交付金)対象とするもの。(国費率1/2)			
手段	事業実施体制等	業務委託	事業開始年度	平成24年度	
			事業終了年度	平成27年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	既存都市公園施設の老朽化への対応や安全性・利便性確保に向けた整備改良の実施。(公園施設長寿命化計画を策定することにより、ライフサイクルコストの縮減を図るもの)			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	施設老朽化予測に基づく事前修繕・更新	策定する計画にライフサイクルコスト縮減効果予想額を含む。		
	B				
	C				

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	施設老朽化予測に基づく事前修繕・更新	目標					H25は繰越明許の8,000千円
		実績						
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	0	0	6,195	8,000	H25は繰越明許の8,000千円	
		財源内訳	国費 (千円)			3,098		
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	0	3,097		4,000
	翌年度への繰越額 (千円)			8,000				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	0	740	740		
		正規職員 (千円)	0	0	740	740		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)			0.10	0.10		
		正規職員 (人)			0.10	0.10		
		その他 (人)						
総コスト=①+② (千円)	0	0	6,935	8,740				
市民1人当たりコスト (円)	0	0	20		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)	339,130	337,875	338,397					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

壊れてからの修繕ではない、予測に基づく修繕によるコスト削減を目的としているが、施設による公園での事故を予防するという効果もある。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	老朽化した公園施設、及び老朽化が早い木製遊具が多く、必要な修繕に追いついていない。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	国費補助対象事業のため、現在の行政による事業実施方法しかない。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	18.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	所属長の評価と同じ。
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項